大和証券グループの取組み

2023年11月2日（木）

株式会社大和証券グループ本社
取締役兼執行役副社長　　田代　桂子

インパクト志向の取組み

Daiwa Securities Group Inc.

これまでの主な取組み①

2008年に国内初の個人向けワクチン債を販売
その後も継続して、社会課題解決に資する新たな金融商品・サービスを開発・提供

ワクチン債

再エネ分野への投融資を
行う子会社を設立

大和エナジー・インフラ
Daiwa Energy & Infrastructure

国内初の個人向け
ワクチン債の取扱開始

ウォータボンド/
エコロジーボンドの
販売開始

国内初の
ESG関連ETFを設定

グローバルEV関連株
ファンドを販売開始

ハイブリッド
戦略の本格化

証券会社として**国内初**
のグリーンボンドを発行

2008 2010 2017 2018

2022 2021 2020

航空業界で**世界初**となる
トランジションボンドをアレンジ

脱炭素テクノロジー
株式ファンドを設定

環境分野における
国内初の
SDGs-IPOをアレンジ

メガソーラー
私募ファンドを組成

ダイワSociety 5.0
関連株ファンドを設定

世界初の
グリーンCBをアレンジ

**日本航空
株式会社**

国内初のファンドとして
カーボンゼロをめざす

Carbon ZERO

**テスホールディングス
株式会社**

**住友林業
株式会社**

これまでの主な取組み② ～ 大和ネクスト銀行 ～

お客さまからお預かりした預金残高に、一定割合を乗じた金額を、大和ネクスト銀行が応援先に定期的に寄付をする

大和ネクスト銀行「応援定期預金」

「応援定期預金」の仕組み

お客さま

応援先の選択

応援先

（例）

こども食堂

（例）

認定NPO法人 カタリバ

お預入れ

利息

大和ネクスト銀行
Daiwa Next Bank

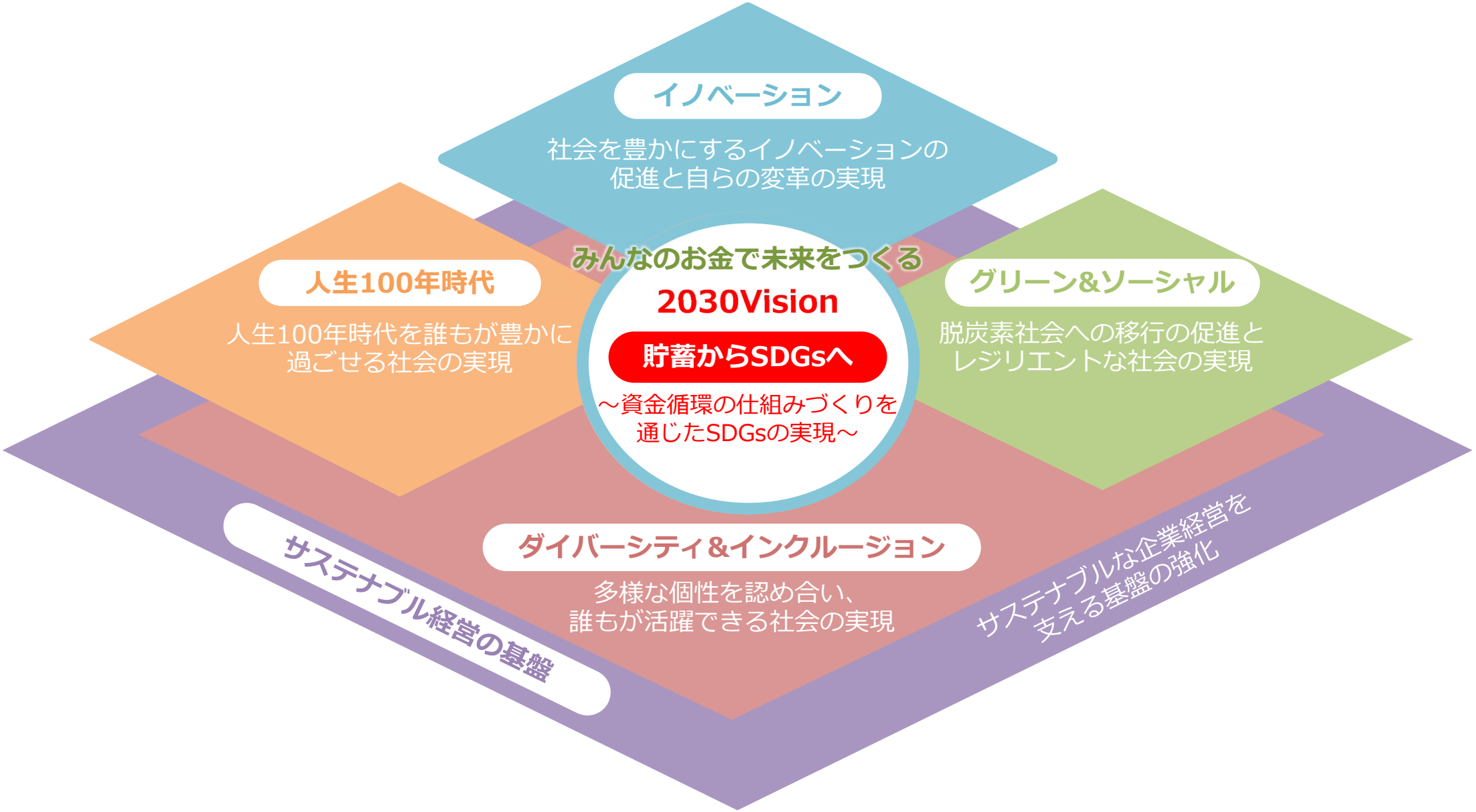
応援定期預金

寄付

累計寄付金額：約8,700万円（2023年10月時点）

こどもの医療支援	地方独立行政法人福岡市立病院機構
	医療法人 稲生会
	認定NPO法人 ジャパンハート
	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター「もみじの家」
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
こどもの自立支援	認定NPO法人 カタリバ
	NPO法人こどもサポートネットあいち
	茨城県児童福祉施設協議会
	こども食堂（石川・北海道・神奈川）
障がい者スポーツ支援	公益財団法人 鉄道弘済会
	一般社団法人 日本障がい者乗馬協会
環境保護	沖縄県恩納村
	東京都水道局

経営ビジョン「2030Vision」～貯蓄からSDGsへ～



インパクト志向の取組み ～ サステナビリティ・リンク・ボンドの引受実績 ～

サステナビリティ・リンク・ボンド（SLB）
発行体が事前に設定した「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）」の達成状況に応じて、財務・ストラクチャーの特性が変化する可能性のある債券
（クーポンのステップアップや非営利団体への寄付の実行）
当社はSLB引受における事務主幹事およびStructuring Agent(※) を務めた

※Structuring Agent…SDGs債の発行にあたって、フレームワークの策定や外部の第三者評価の取得に関する助言等を通じて、SDGs債の発行支援を行う者

株式会社花王　2023年6月

KPI
花王グループ全拠点における、Scope1＋2 CO2排出量（絶対量）削減率
（基準年：2017 年度）

SPT
2026 年度までにScope1＋2 CO2排出量（絶対量）39%削減
（基準年：2017 年度）

日本電気株式会社　2023年7月

KPI 1
NEC グループの Scope1+Scope2 における CO2 排出量削減率

KPI 2
CDP 気候変動のスコア

SPT 1
Scope1+Scope2の各年度における CO2 排出量削減率
（基準年度である 2017 年度比）

SPT 2
CDP 気候変動の最終スコア「A」の維持

※花王 サステナビリティ・リンク・ボンド フレームワークおよびNEC サステナビリティ・リンク・ボンド フレームワークより、大和証券作成

インパクト志向の取組み ～ エクイティファイナンス ～

エクイティファイナンスにおいてもインパクト志向の取組みが拡大。IPO等でも活用されており、当社は市場形成を主導

株式会社クラダシ　2023年6月

本邦初のB Corporation認証企業のIPO

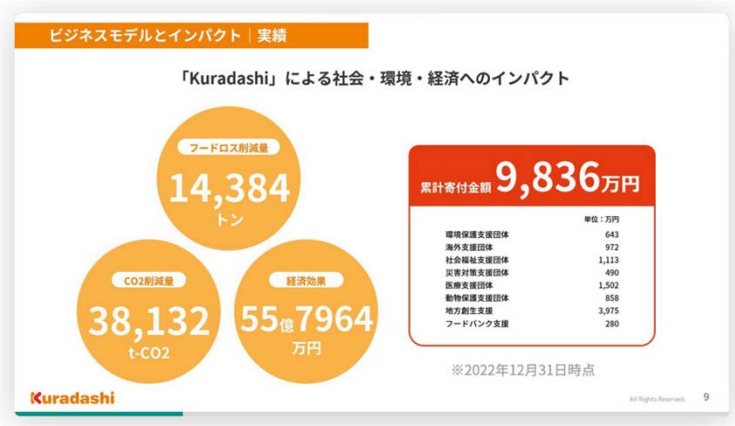
Kuradashi

- ✓フードロスを大幅に削減する仕組みであるソーシャルグッドマーケットを運営
- ✓売上の一部を社会貢献団体への寄付や、クラダシが運営する「クラダシ基金」で活用

Certified B Corporation

- ✓アメリカの非営利団体 B Lab が運営する、社会や環境に配慮した公益性の高い企業に対する国際的な認証制度
- ✓クラダシは、日本で13 番目に同認証を取得

サステナビリティレポート



- ✓**クラダシによるインパクト**
  - **フードロスの削減**
    従来廃棄されていた商品などをKuradashiに再流通させることで、フードロス削減を推進
  - **社会貢献活動への支援**
  - **クラダシ基金の活動**

※ クラダシ　会社紹介資料およびクラダシ　サステナビリティレポートより、大和証券作成

インパクト志向の取組み ～ インパクトファンド「カーボンZERO」① ～

PASSION FOR THE BEST

2021年7月、大和アセットマネジメントが脱炭素ソリューション企業に投資を行うファンドを設定
ファンドとしてカーボンゼロをめざし、個別銘柄のCO_2排出量を算出する他、植樹活動へ寄付も実施

脱炭素テクノロジー株式ファンド

ポイント①：脱炭素社会実現に貢献するソリューション企業に厳選投資

1 エネルギーの効率的利用

ゼロエミッションビル

2 エネルギーの転換

太陽光発電

3 エネルギーの貯蔵

全固体電池

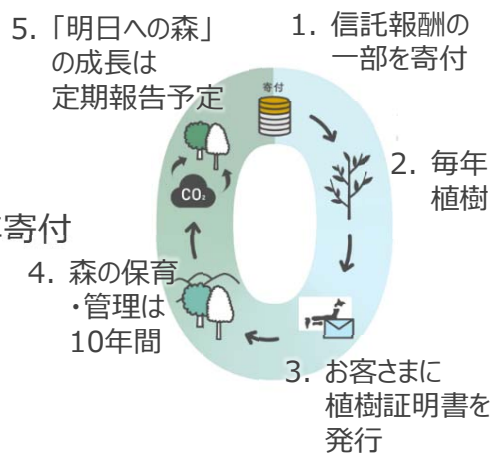
ポイント②：国内初! ファンドとしてカーボンゼロをめざす

個別銘柄のCO_2排出量を算出し、それと同等のCO_2削減が見込まれる**グリーンプロジェクトに資金を拠出**。

※イメージ

ポイント③：NPOを通じ植樹活動に寄付

大和証券および
大和アセットマネジメントは
信託報酬の一部を
「認定NPO法人
環境リレーションズ研究所」
による植樹プロジェクトに毎年寄付



インパクト志向の取組み ～ インパクトファンド「カーボンZERO」② ～

インパクトレポートで、運用理念やそれを実現する投資手法、さらにどのような企業に投資し、環境や社会にどのようなプラスのインパクトを生み出しているのかを分かりやすく解説

インパクトレポート 2023

当ファンドのCO2排出量とオフセット量

	2021年7月～2022年9月 ファンド設定7月から 2022年9月末現在まで測定
100万米ドル投資当たりのCO_2相当量(tCO2eq*、月平均)	52
累積CO_2オフセット(トン)	36,184

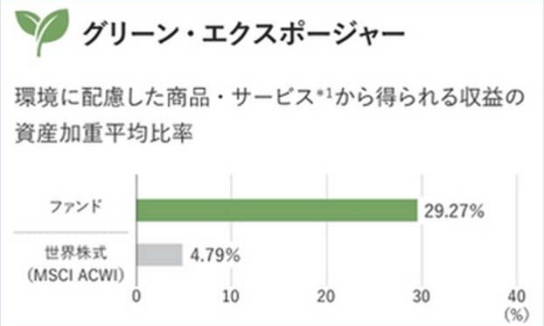
カーボンクレジット (tCO2eq*)	取得済	61,811
	残存	25,627
	使用済	36,184

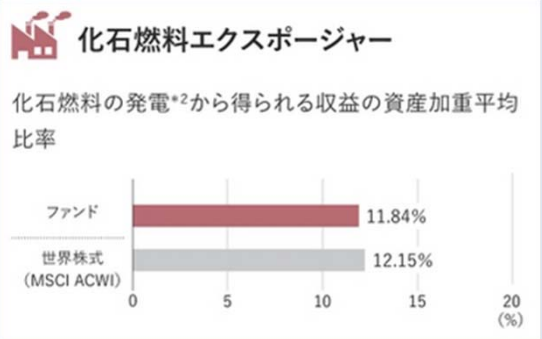
＊温暖化への影響の大きさが異なる複数の種類の温室効果ガスを二酸化炭素の質量に換算した単位

※カーボン・クレジットはサウスポールが提供　※ポートフォリオのカバー率99.08%(2022年9月末)

出所：カンドリアム社、トゥルーコスト

当ファンドが生むインパクト（一部）





※カーボンZERO インパクトレポート2023（情報提供用資料）（meclib.jp)より

インパクト志向金融宣言への期待

Daiwa Securities Group Inc.

「インパクト志向金融宣言」の今後に期待すること

普及活動

- 投資家、学識者・学生への普及・浸透
- 新たな資金調達手段としての普及活動

環境整備

- インパクト測定結果に対する認証制度
- 投資家に訴求できるインパクトの分析・研究

署名機関同士のさらなる連携

サステナブルな社会の実現に向けて

※ 大和証券グループCM『「2030Vision」～貯蓄からSDGsへ～』30秒 - YouTube

PASSION
FOR THE
BEST